

# 非対応PCの Win11アップグレード

---

1. 事前準備・・・アップグレード前に、PC丸ごとバックアップ  
(アップグレードに失敗した場合、PCが起動できなくなることも)
2. 非対応PCのアップグレード・・・Win11要件未充足PCを、MSの要件  
チェックを回避してアップグレードする簡単な方法

# 1.事前準備

- Win11にアップグレードが上手くできない場合に備えて、作業前の状態に戻せるように現状の「PC丸ごとバックアップ」。
  - 使用ツール：システムイメージの作成  
「システムイメージの作成」は、「バックアップと復元Windows 7」の中にあるが、Windows7の時代のツール。現状でも機能するがMSは非推奨。
    1. タスクバーの検索窓に「コントロールパネル」と入力して起動
    2. コントロールパネルの「バックアップと復元Windows 7」をクリック
    3. 「システムイメージの作成」をクリック
  - バックアップ先は、外付けHDDがオススメ
- ※バックアップからの復元については、別途説明

## 2.非対応PCのアップグレード（1）

ブラウザで、「Windows11ダウンロード」と検索しMS公式サイトからWindows11のISOファイルをダウンロードする。

### 1. 基本形

Win11の要件を満たしていれば、ISOファイルをDVDにコピーし、出来上がったインストールディスクのsetup.exeをクリックすればWin11にアップグレードできる。

（USBメモリーでWin11のインストールメディアを作成可）

### 2. 問題点

- ① 要件未充足の場合は、要件チェックを回避する方法が必要。
- ② 最近のノートPCは、DVDドライブを持っていない。

# ※予備知識(1)

## 1. コマンドプロンプト

コマンドプロンプトは、パソコンをキーボードから「コマンド」と呼ばれる命令文を使って操作できる黒い画面のツールです。普段はマウスでアイコンをクリックして操作することが多いですが、コマンドプロンプトを使うと、キーボードだけでファイルやフォルダの作成、コピー、削除、移動などができます。

<起動方法>

タスクバーの検索欄に「cmd」と入力してエンター

<実行するプログラムがあるディレクトリーで実行>

Setup.exeのあるディレクトリーでsetupを実行：

ISOファイルのドライブで実行する

# ※予備知識(2)

## 2. 仮想ドライブ (マウント)

### ISOファイルとは

ISOファイルとは、CDやDVDなど光ディスクの中身を1つのファイルにまとめたものです。拡張子は「.iso」になっています。たとえば、ソフトウェアのインストールディスクやゲームディスクの内容を、パソコンの中にまるごと保存できる便利なファイルです。

### マウントとは

マウントとは、そのISOファイルを「仮想ドライブ」としてパソコンに認識させる操作です。仮想ドライブとは、実際のCDやDVDを挿入しなくても、パソコンが「ディスクが入っている」と認識する特別な場所のことです。

マウントすると、エクスプローラー (Windowsのファイル管理画面) に新しいドライブが現れ、その中身にアクセスできるようになります。まるで本当にディスクを入れた時と同じように、ソフトウェアのインストールやファイルの閲覧ができます

## 2.非対応PCのアップグレード（2）

### 要件チェックを回避する方法

#### 1. 2つのWindows setupウィザード

- ① Windows11PCのsetupウィザード・・・厳格な要件チェック
- ② サーバーのsetupウィザード・・・緩い要件チェック

#### 2. コマンドプロンプトの利用

- ① Windows11PC・・・コマンド「setup」
- ② サーバー・・・コマンド「setup /product server」

※コマンドを実行する場合、ディレクトリーはDVD（仮想DVD）のディレクトリーで実行